

研究に関するお知らせ

(研究の名称： AIを用いた感染症予測等の実証に関する研究)

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター病院 国際感染症センターでは、以下にご説明する研究を行います。

この研究への参加を希望されない場合には、研究不参加とさせていただきますので、下記のお問い合わせ先にお申し出ください。お申し出になられても、いかなる不利益も受けることはございませんのでご安心ください。

■研究目的・方法

入院中の患者に感染症が発生すると大きな問題となるため、院内感染症の管理はすべての病院にとって重要な課題です。これらの院内感染症には専門家が対応することが理想的ですが専門家が乏しいため現実的には困難です。また感染症は進行が速いため他の医療機関への相談のハードルが高く結果的に十分なケアが行われなかったこともあり得ます。さらに院内感染症が広がりすぎた場合、コントロールのために一時的に新規入院患者の受け入れ停止を考慮しなければいけないため、影響が非常に大きいといえます。

本研究はこれらの院内感染症の診断のための人工知能を用いた感染症の予測モデル開発を目的とします。本予測モデルにより多くの医療従事者の負担を軽減し、患者さんにより適切な治療を受ける機会を提供できると考えられます。

■研究期間

倫理審査委員会承認後～西暦2020年3月31日

■研究の対象となる方

2010年9月～2018年12月に当院を受診された方（未成年者を含む）

■研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、身体所見、治療歴 等

上記の対象期間中に診療録に記録された診療情報（病歴、身体所見、治療歴等）を、研究に使用させていただきます。使用に際しては、政府が定めた倫理指針に則って個人情報厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

■研究計画書等の入手・閲覧方法・手続き等

あなたのご希望により、この研究に参加して下さった方々の個人情報の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことができます。ご希望される方は、どうぞ記載のお問合せ先にお申し出ください。研究対象者が未成年者の場合は、親権やまたは未成年後見人である代諾者が本手続きを行うことが可能です。

す。また認知機能低下者の場合は、父母、兄弟姉妹、子・孫、祖父母、同居の親族又はそれら近親者に準ずる者（未成年者を除く）が本手続きを行うことが可能です。

■個人情報の開示に係る手続きについて

本研究で収集させて頂いたご自身の情報を当院の規定に則った形でご覧頂くことも出来ます。ご希望される方は、どうぞ記載のお問合せ先にお申し出ください。研究対象者が未成年者の場合は、親権やまたは未成年後見人である代諾者が本手続きを行うことが可能です。

■利益相反について

本研究の業務内容の一部（研究計画書作成、データ収集・入力、データの匿名化、データクレンジング、データ分析業務の一部）は無償でNECソリューションイノベータ株式会社に委託されます。研究目的は感染症の予測モデル構築であり、モデル構築に当たっては国立国際医療研究センターの研究者が参加し、結果が公正に求められるように執り行います。

また「個人情報の管理」「委託契約下での研究」「研究結果の取り扱い」については利益相反マネジメント委員会で審議を受け承認されています。

■研究責任者：

国立研究開発法人国立国際医療研究センター国際感染症センター センター長 大曲貴夫

■お問い合わせ先

実施機関名	国立研究開発法人国立国際医療研究センター
所属・役職	国立国際医療研究センター病院 医師
担当者氏名	齋藤 翔
電話番号	03-3202-7181（代表）